

阪神地区私立大学教職課程研究連絡協議会
2010年度第4回（通算228回）幹事校会記録

日時：2010年12月22日（水）10:45～13:24

場所：学校法人常翔学園 大阪センター 303教室

出席：12校（19名）

追手門学院大学（井ノ口 淳三）
大阪経済大学（樋口 太郎）
大阪工業大学（酒井 恵子、疋田 祥人、山口 洋之、西川 泰行、半田 孝）
大阪産業大学（山田 全紀、瀬島 順一郎、谷田 信一）
大阪電気通信大学（川地 亜弥子）
関西大学（玉田 勝郎、原 徹）
関西学院大学（富江 英俊）
神戸国際大学（山本 克典）
神戸女子短期大学（重藤 美江子）
四天王寺大学（八木 成和）
姫路獨協大学（中嶋 佐恵子）
桃山学院大学（竹中 暉雄）

司会：酒井 恵子

記録：八木 成和

議事

（1）第3回幹事校会記録の確認

訂正は特になし。

（2）2010年度全私教協理事会報告

疋田祥人事務局次長より資料に基づき第4回理事会の報告がなされた。

特に、以下の3点について補足説明がなされた。

- ①2011年度研究集会の全体テーマ案を、全私教協事務局を中心に検討し、提示することが確認された。
- ②全私教協専用のホームページの開設を予定しており、阪神教協のホームページとリンクさせる。
- ③「2010年度 会報」を年2回発行予定である。

理事会報告について質問は特になかった。

（3）2011年度全私教協研究大会の運営ならびに阪神地区分科会の運営について

開催校である富江 英俊氏（関西学院大学）より資料に基づき、現在の進行状況の報告と今後の運営に対する各校の協力関係や役割分担について提案がなされた。この提案に基づき議論がなされた。今後、開催校の実情に合わせて業務の一部外部委託も含めて、全私教協と連絡を取りながら予算案を作成していただくことが承認された。また、当日の受付業務、情報交換会の司会等の人的な面での補助を阪神教協で協力していくことが承認された。

次に、企画に関して議論がなされた。基調講演の講演者は従来通り開催校から開催校に縁のある方を提案していただき、全体テーマに合わないなどの場合には、全私教協に推薦してもらうこととなった。また、シンポジウムのテーマは、教員養成6年制に関するものとし、シンポジストの1人として、四天王寺大学 碓井 岑夫学長を推薦する方向で、今後調整を進めることが承認された。

さらに、分科会テーマについて議論がなされた。酒井 恵子事務局長よりテーマについて、介護等体験の指導に関する内容とすることが提案された。第2回課題研究会のテーマでもあり、課題研究会の報告者に加え、事務担当の方や社会福祉協議会の方を含めて実施してはどうかなどの意見が出された。提示された案の方向で進めていくことが承認された。また、分科会の司会を川地 亜弥子氏（大阪電気通信大学）と疋田 祥人事務局次長に、記録を中嶋 佐恵子氏（姫路獨協大学）に依頼することが承認された。

(4) 第3回課題研究会の進行について

今回の課題研究会の内容上、司会は事務担当者を中心にとの判断から、第1部の司会を報告者でもある原徹氏（関西大学）、第2部の司会を榊井 かず美氏（園田学園女子大学）にお願いすることが承認された。

(5) 2010年度会費納入状況について

疋田 祥人事務局次長より、現在2大学が未納であるが近日中に納付されること、全私教協に会員校分の会費が納入されたことが報告された。

(6) 次回課題研究会について

次年度の5月の総会後に、教員及び事務職の両方を対象とした内容で実施する方針が確認された。テーマとしては、特に教育実習や介護等の体験における、「特別な配慮が必要な学生」への指導について取り上げることが承認された。例えば、障害のある学生への指導に焦点をあて、「そもそも障害とは何か」等の理念的な部分も含めてはどうかとの意見が出された。それ以外に、何らかの形で「実地視察報告」も盛り込むことが提案された。以上を踏まえ、次回幹事校会において、事務局より案を提示することとなった。

(7) 平成22年度「教職課程に関するアンケート」について

原 徹氏（関西大学）より、資料に基づき前回提示されたアンケート案の項目の追加・修正部分について報告がなされた。学校インターンシップと学校ボランティア等との区別について議論されたが、各大学の判断により記入していただくこととなった。また、「設問（臨時）」の項目の表現として、「障害を持つ学生」という文言について議論がなされ、教育基本法の表現に従い「障害がある学生」に修正することとした。最終的に、各項目の追加・修正部分に関して承認がなされた。

今後、郵送により1月下旬に各校に発送し、3月中旬締め切りとすること、ホームページよりダウンロードして、なるべくメールにて回答していただくことが確認された。

(8) 阪神教協リポート編集について

山田 全紀氏（大阪産業大学）より資料に基づき2011年4月発行予定の「阪神教協リポート」の編集方針について説明がなされた。原稿を依頼した方のうち、承諾が得られなかった方については、資料のみ掲載する旨了承された。書評については、「教師を育てる」に関して杉浦 健氏（近畿大学）に、「21世紀を生きる子どもたちからのメッセージ—第3回大阪子ども調査結果から」に関して川地 亜弥子氏（大阪電気通信大学）にそれぞれ執筆者を推薦いただくこととした。会員大学自己紹介は事務局校である大阪工業大学および新規加盟校の3大学の中から依頼することが了承された。

(9) 今後の記録担当について

今回の第3回課題研究会の記録は、大前 哲彦氏（大阪音楽大学）および第4回幹事校会の記録は八木 成和氏（四天王寺大学）が担当する。次回幹事校会記録は、桃山学院大学にご担当していただき、今後は、まだ担当していない大学に担当していただくことが確認された。

(10) その他

①京都造形芸術大学より神戸市立中学校における美術と音楽の教育実習に関する問い合わせに対して、今後メーリングリストで情報収集すること、および事務局校より関連する教職課程のある大阪音楽大学、相愛大学、神戸女学院大学に問い合わせいただく旨確認された。

②八木 成和氏（四天王寺大学）より2015年度からの事務局校の担当大学として内諾した旨報告された。

③次回幹事校会日程について

2月16日（水）午後から